

# 気候危機を回避し、豊かで暮らしやすい厚木の未来を創ろう！

**第5回会議：2023年10月15日**

実行主体：あつぎ気候市民会議実行委員会

主催：一社）あつぎ市民発電所、厚木市

連携：一社）環境政策対話研究所

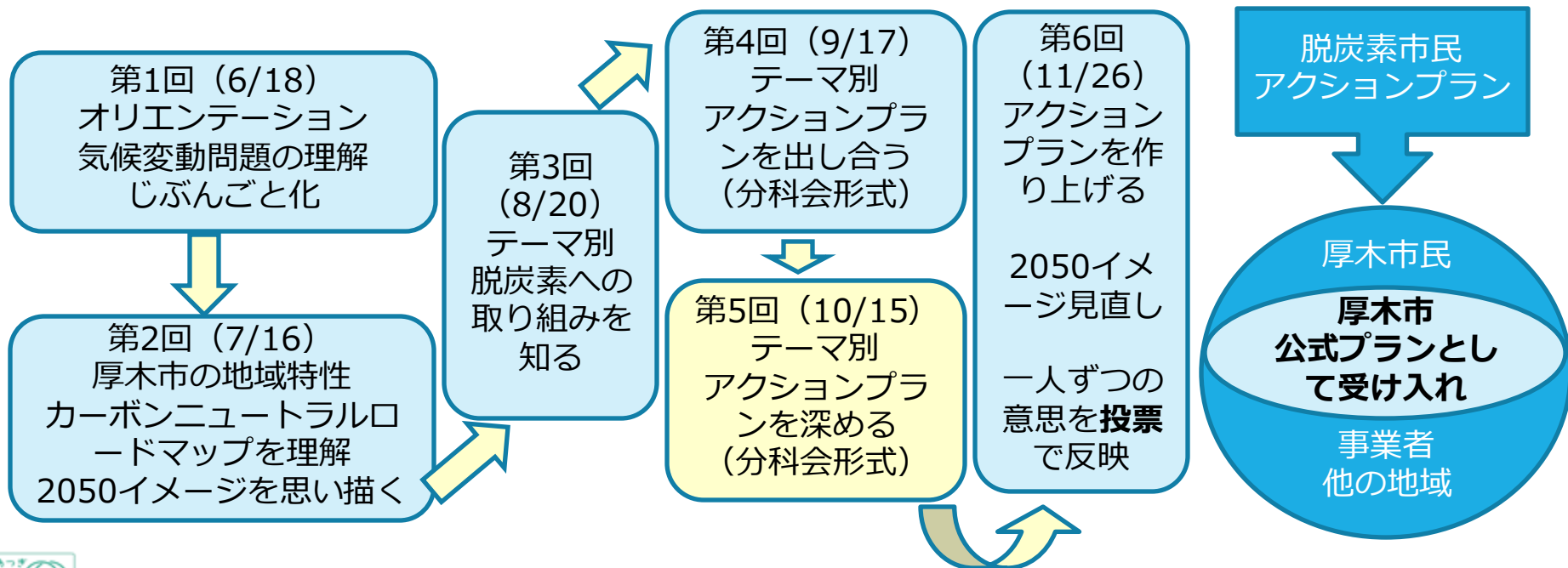
協力：公）地球環境戦略研究機関（IGES）

神奈川県環境科学センター

あつぎ気候市民会議



# 脱炭素市民アクションプラン作成 に向けた議論の進め方



# 本日の内容

13:00～	開会、第4回会議振り返り、本日の内容・ゴール	実行委員会
13:10～	第一部 シンポジウム 普及啓発をどうやってすすめるか アクションプラン～市民の行動変容へ	浅利美鈴氏、二ノ宮リムさち氏 岩崎茜氏 モデレーター：鈴木秀顕
14:00～	休憩 第二部へ移動（会場設営にもご協力を）	A分科会はミュージックルーム2（7階） B分科会は602&603（ここ）
14:10～	第二部 分科会 アイスブレイク・会議の進め方	A分科会 メインファシリ 鈴木秀顕 B分科会 メインファシリ 岩崎茜
14:15～	グループ討議 アクションプラン素案（たたき台）⇒ アクションプラン原案へ	
	分科会ごとに適宜2回休憩 （ほかのグループ模造紙を見てまわろう！）	
16:50～	次回へ向けての連絡	実行委員会
17:00	閉会	Fa

# 脱炭素市民アクションプラン素案

## 第4回会議のグループ討議を整理し「アクションプラン素案」を作成

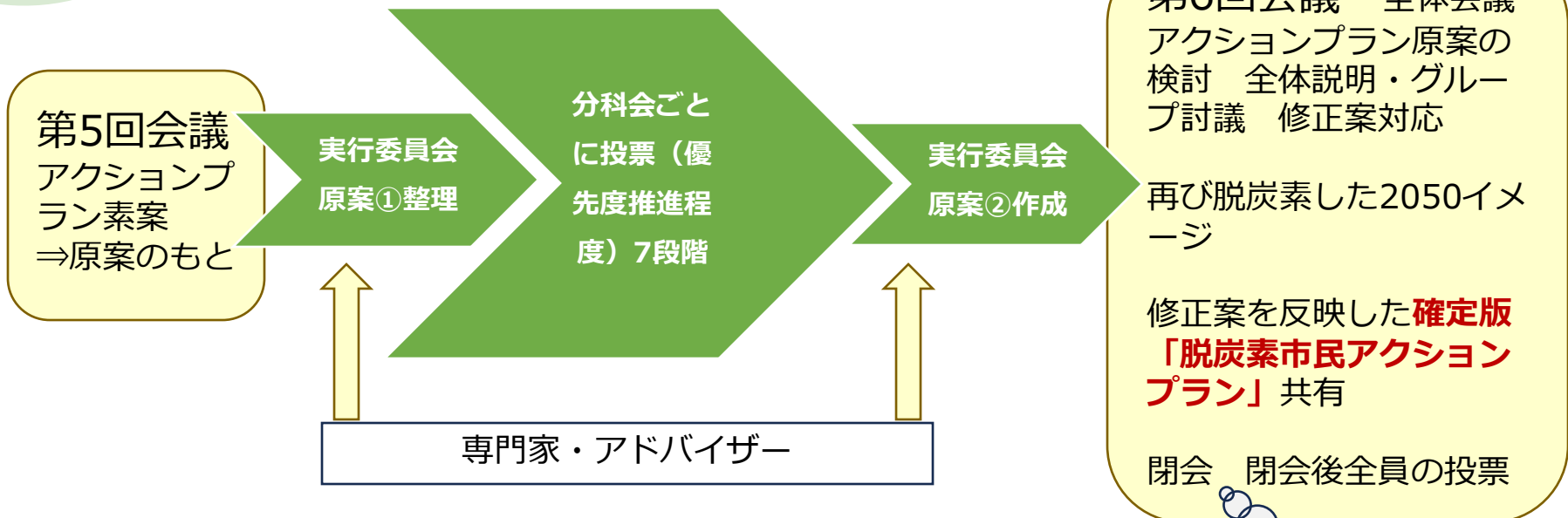
例

★第3回までは出ていたが4回目では出なかった項目

☆実行委員会、専門家からの提案項目

大項目	中項目	小項目	課題解決提案
テーマ	市民は何をどうしたいか 何を望むか	そのために取り組むこと	実現に向けた課題解決 どうすれば実現するか
<b>A-1</b> 創エネ 地産地消	<b>A-1-1 太陽光発電の導入</b> 2030年に13年比3.7倍、2050年9倍 にするため、太陽光発電可能なすべての のところに設置。蓄電池も普及。 2050年再エネ発電利用率100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸建住宅可能なところはすべて設置</li> <li>・集合住宅でも活用できる仕組み整備</li> <li>・</li> <li>・...</li> </ul>	推進するための相談窓口 活用しやすい補助金など選択肢 を示す
<b>B-1</b> 省エネ 住まい	<b>B-1-1 住まいの断熱によ る省エネと健康促進</b> すべての住宅で最も省エネ効果の大き い断熱を取り入れ、熱中症やヒートシ ョックのない健康的環境を実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新築住宅は高断熱性能のZEHを標準</li> <li>・既存住宅は断熱リフォーム</li> <li>・賃貸住宅でも断熱性能向上へ支援策</li> <li>・断熱リフォームのDIYを普及</li> <li>・...</li> </ul>	支援する仕組み 情報提供、相談窓口 宿泊体験

## 本日から最終回へ



「脱炭素市民アクションプラン」厚木市と市民に公開（12月）  
参加市民と実行委員メンバーの交流会を企画

報告書冊子発行 「全体ふりかえりの会」を計画中（2月ころ）

修正部分の質と量により、確定版共有は閉会后の可能性も

**中項目は各グループでおおむね一致  
小項目を選定・追加**

進めたいこと、進めるべきだが【課題が多くて難しそう】

・・・なぜできない？ どうすればできるようになるか  
どんな条件があれば行動変容につながるか

シンポジウムを参考に小項目や課題解決策の追加大歓迎

**アクションプラン原案に何を入れるか**

**小項目まででもOK 課題解決策まであればもっとOK**

- **厚木市CNロードマップの目標数字を達成させられる社会の大転換につながるプラン**であるか  
厚木市のCO<sub>2</sub>排出量を2013年度比 2030年度50%削減 2050年度100%削減  
このために急加速ですぐに効果的なアクションを起こす必要がある
- 市民が主役,市民が主語 「市民が〇〇する」  
「市民が〇〇する、そのために市は（企業・事業者は）△△の後押しをする、整備をする」

たくさん学んで理解した「私」が行動変容することは大事、でもすぐできることは限定的  
アクションプランに取り入れたことを無理なく誰でもできる仕組みや基盤を作っていくことが目的  
(仕組みや基盤をつくるのは「私」では荷が重い、それはそうです)  
仕組みや基盤ができれば**「たくさんの私」が行動変容を起こします**

## 行動変容を起こす動機

知ること、理解すること  
便利なこと、楽しいこと  
やりがいがあること  
お得になる、儲かること  
選択肢があること、自分で  
選べること  
希望が持てること  
仲間がいること  
あとどんなこと？

## 本日の内容

シンポジウム 普及啓発をどうやってすすめるか

アクションプラン素案 ⇒ 小項目の内容検討・課題解決に向けて  
⇒ 原案づくり

## 本日のゴール

**脱炭素市民アクションプランの原案を作ろう**

# 第一部 シンポジウム

## 普及啓発をどうやってすすめるか アクションプラン～市民の行動変容へ パネルディスカッション

モデレーター

鈴木秀顕 氏

松蔭大学  
観光メディア文  
化学部メディア  
情報文化学科

スピーカー

浅利美鈴 氏

総合地球環境学  
研究所

二ノ宮リムさち氏

東海大学  
スチューデントアチ  
ーブメントセンター  
大学院  
人間環境学研究科

岩崎 茜 氏

サイエンスコミ  
ュニケーター  
東京大学大学院  
農学生命科学  
研究科





**14 : 10** までに  
ご着席ください。

# 休憩

A分科会の方は、7Fのミュージックルーム2へ  
移動してください。  
B分科会の方は、こちらのお部屋で待機してく  
ださい。

# グループ討議

# 第二部 分科会

中項目ごとに時間を区切ってを深掘りし、アクションプランを固めます。

<b>A-2 移動・まちづくり</b> 中項目 <b>A-2-4 EV車普及</b>		★第3回会議では上がっていたが第4回会議で出なかった内容 ☆会議では出なかったが実行委員会で追加した内容	
<b>【要討議】:</b> EV車の普及する／厚木市民は日産のEVを購入する(これはアクションの一つとして小項目に移すか)			
ID	小項目:具体的な取り組み	課題解決策など	主体者 ● 協力者 △ 市 市民・行政・事業者
14	EV車のメリット、デメリットを理解したうえでEV車の普及を促進する。		● ● ●
15	EV充電設備の拡充をする	EV充電スポットには太陽光発電を設置する	● ● ●
16	全個体電池、車種の実用性を増やすなど製品の充実を促す。		●
17	日産のEV購入に厚木市民はインセンティブ受けられる。		● ●
18	情報や知識を得て利用するために1週間くらいの貸し出し期間を設ける。		● ●
19	★公用車のEV化を優先的にすすめ、休日はカーシェアを行う		● ● ●

中項目にはそれぞれ、「小項目」と「課題解決策など」があり、それをとっかかりに議論を深めましょう。

### 進め方

- グループワークの時間は全体で2時間35分あり、時間の使い方は各グループに委ねます。
- グループワークの説明に5分、休憩10分×2、あわせて25分をこの時間に含むので、討議の時間は実質**2時間10分**です。
- 中項目は、**Aグループは14**、**Bグループは12**あるので、各項目にかける時間は**約10分**ずつです。みなさんがどこに関心を持つかに応じて、時間のかけ方を融通してください。
- 参加者は基本的に議論に集中し、付せんにはファシリが書いてください。

「小項目」について、さらに具体化できるところは深掘りしましょう。

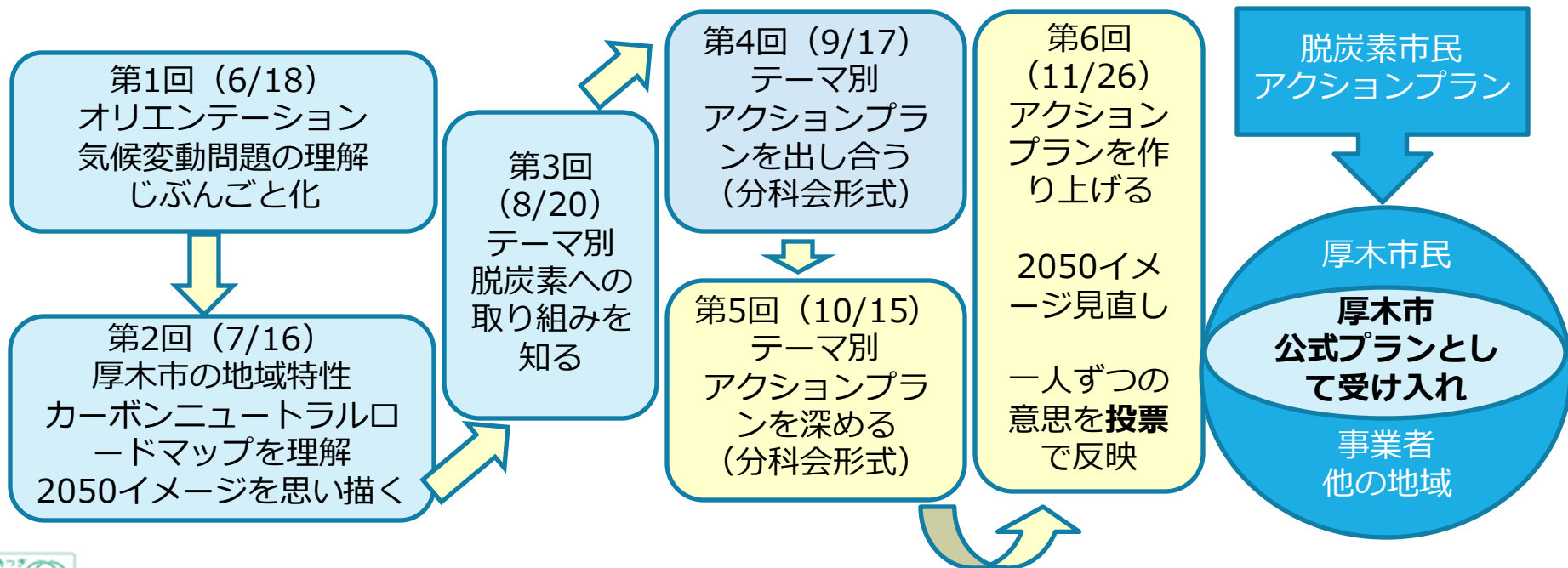
「課題」についてさらに挙げていき、その解決策を考えましょう。

A-2 移動・まちづくり		★第3回会議では上がっていたが第4回会議で出なかった内容
中項目 A-2-4 EV車普及		★会議では出なかったが実行委員会で追加した内容
【要討議】:EV車の普及する／厚木市民は日産のEVを購入する(これはアクションの一つとして小項目に移すか)		
ID	小項目:具体的な取り組み	課題解決策など
14	EV車のメリット、デメリットを理解したうえでEV車の普及を促進する。	
15	EV充電設備の拡充をする	EV充電スポットには太陽光発電を設置する
16	全個体電池、車種の実用性を増やすなど製品の充実を促す。	
17	日産のEV購入に厚木市民はインセンティブ受けられる。	
18	情報や知識を得て利用するために1週間くらいの貸し出し期間を設ける。	
19	★公用車のEV化を優先的にすすめ、休日はカーシェアを行う	

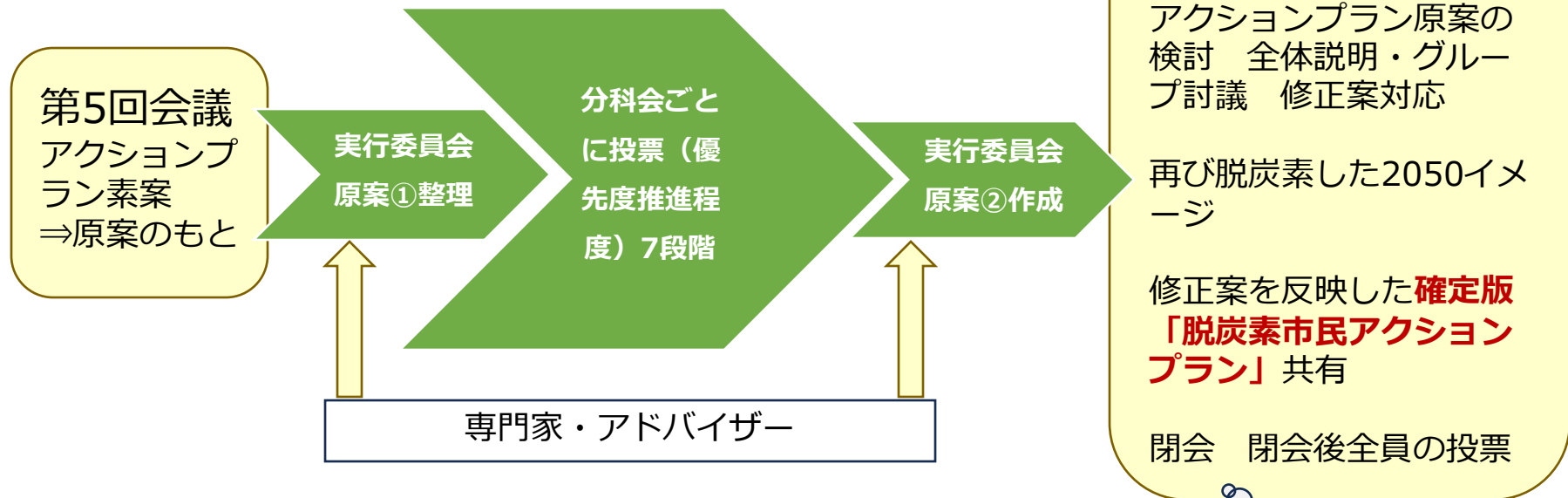
主体者 ● 協力者 △  
市  
市民・行政・事業者

# 次回に向けての流れ・・・

第5回：深める ⇒原案（事前投票） / 第6回：全体会 全体共有・確定+実施優先度の投票



# 本日から最終回へ



「脱炭素市民アクションプラン」厚木市と市民に公開（12月）  
参加市民と実行委員メンバーの交流会を企画

報告書冊子発行 「全体ふりかえりの会」を計画中（2月ころ）

修正部分の質と量により、確定版共有は閉会后の可能性も

# 第2回会議で行った 脱炭素した2050年あつぎのイメージ

## 全体に共通

CO<sub>2</sub>排出量や削減効果の見える化  
エネルギー消費量に応じた課税制度  
自治力の強いまち  
市民の声が反映しやすい  
前例のないことにも積極的に取り組む  
環境教育の充実 電子教科書

最後にもう一度  
イメージしよう

道路、ガードレール、歩道屋根  
全公共施設でソーラー、風力発電  
農地でソーラー発電  
壁に貼るソーラー  
市が再エネ会社を  
人の動きからエネルギー  
集中豪雨のエネルギー

再生可能エネルギー  
至る所で  
自然を破壊しない

## ライフスタイル 価値観の転換

ライフスタイル  
大量生産・大量消費・大量廃棄からの転換  
マイクロプラスチック、化学物質による健康被害のない  
暮らし  
テレワーク、昼夜逆転（暑さ対策？）地下のまち

農業（食料自給率向上、後継者問題の解決）  
スマート農業、AI・ロボット化、工場で農業生産  
食品はサプリメントで栄養を摂る、  
昔ながらの農業への回帰

ごみ削減・リサイクル率向上  
分別の自動化・AI化 ゼロ・ウェイスト  
人がルールを理解し守る ルール違反できない仕組み  
医療廃棄物削減にAI活用

## 活気のある まちづくり

森林・緑、水辺、農地  
生態系（里地・里山・里川）  
自然の中で遊ぶ エコツーリズム

コンパクトシティ コミュニティ活性化  
歩いてくらせるまち 暑さ対策ミストシャワー

モビリティ 化石燃料の車は使わない  
EV、カーシェアリング、渋滞がない  
新交通システム 自動運転、小型オンデマンド乗り合  
いシステム、路面電車、チューブ型新幹線  
車以外 自転車専用道、キックボード、セグウェイ

MaaS 人が移動せずにサービスを受けられる  
医療、介護、買い物、食事作りロボット、  
ドローンで配達

# 次回にむけてのご連絡

**11月26日（日） 13:00～17:00**

**場所：サイエンスホール250（厚木シティプラザ6階）**

※第1回～3回までと同じ場所です。

終了後アンケート Googleフォームまたは用紙で：**10月16日（月）** 〆切  
<https://forms.gle/WheLmF2emVj6U1KE7>

会議録など公開 会議終了後10日後を目安にホームページにて  
原案①投票 Googleフォームにて：**11月2日（木）** 〆切予定  
10月末に投票方法について連絡予定（**全員回答必須**）

次回の出欠確認 **11月11日（土）** 頃に「あつぎ気候市民会議レター」にて

名札 テーブルに置いてお帰りください。

託児サービス 次回利用予定の方は、お帰りの際に受付で申し込み





お疲れさまでした。

あつぎ気候市民会議

